

聖岳(百間平から)



TOKUSHU TOKUS

目次

	五红帆女	(p1)		
•	18年3月期連結決算概要 期末連結業績実績 営業利益の増減要因(2018年3月) セグメント情報	(p2) (p3) (p4)	海外展開 ・ファンシーペーパーの新市場としての中国展開 ①~⑤	(p12) ~ (p16)
			・ 保護紙の海外展開	(p17)
	19年3月期通期連結業績見通し		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	2019年3月期連結業績見通し	(p5)	<u>成長戦略</u>	
•	営業利益の増減要因(2019年3月期見通し)	(p6)	・ 新しい種(タネ)の開拓(新機能性材料展)	(p18)
第 [四次中期経営計画(NEXT10)		ESG重視による企業価値の向上	(p19)
•	中期経営計画 連結目標数値	(p7)	・ レックス長泉工場新設	(p20)
		(P 1)	・ガスエンジン設置によるコスト削減	(p21)
基	盤事業の強化・変革」進捗状況		• 環境関連分野	(p22)
	新東海製紙の競争力強化	(n0)	· 資本政策	(p23)
	当社特有の技術を使ったシート状物の開発	(8q) (p9)	・ 任意の委員会	(p24)
	ペーパータオル・ラミ製品の新製品開発	: -		•
	ラミネート事業強化	(p10) (p11)		
		(PII)		

会社概要

> 社名 特種東海製紙株式会社

> 本店所在地 静岡県島田市向島町4379番地

▶ 設立 2007年4月

> 代表者 代表取締役社長 社長執行役員 松田 裕司

▶ 資本金
11,485百万円

> 事業内容 紙・パルプの製造、加工、販売

▶ 工場 三島、島田、岐阜、その他

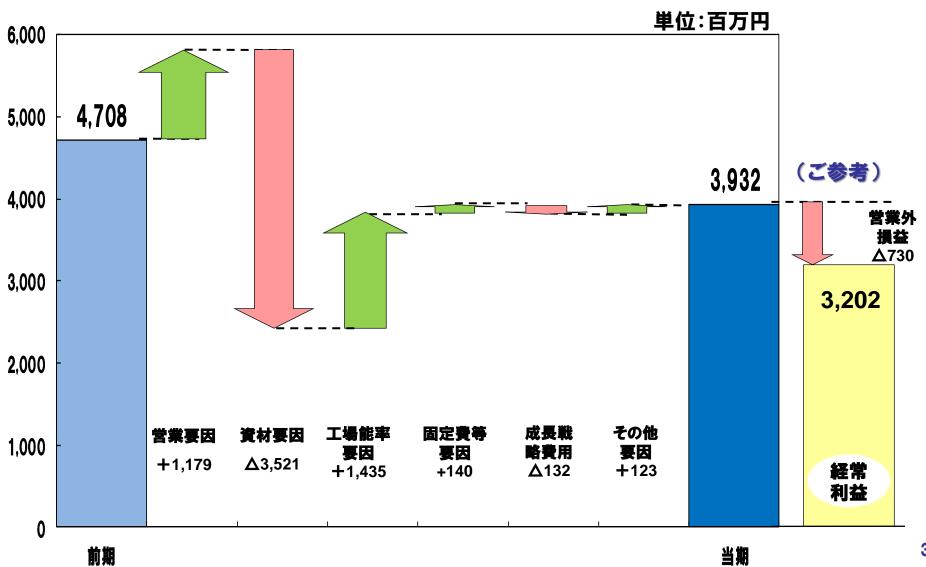
2018年3月期連結決算概要

期末連結業績実績

(単位:百万円)

(干圧・口/313					
	前期実績	当期実績	増減		
売上高	77,718	79,086	+1,368		
営業利益	4,708	3,932	△776		
経常利益	5,075	3,202	△1,873		
親会社株主に帰属する当期純利益	3,852	2,193	△1,659		
売上高 営業利益率	6.1%	5.0%			

営業利益の増減要因(2018年3月)



前期

セグメント情報

単位:百万円

				— IX · II / J J
		2017年3月期	2018年3月期	増減
産業素材	売 上 高	39,266	40,078	+812
事 業	営業利益	1,198	1,075	△123
特殊素材	売 上 高	22,158	22,438	+280
事 業	営業利益	2,563	2,316	△247
生活商品	売 上 高	17,222	17,182	△40
事 業	営業利益	892	527	△365
Z の 4h	売 上 高	4,587	5,627	+1,040
その他	営業利益	198	273	+75
治	売 上 高	△5,516	△6,241	△725
消 去	営業利益	△143	△260	△117
<u> </u>	売 上 高	77,718	79,086	+1,368
合 計	営業利益	4,708	3,932	△776

[※]組織変更に伴い、従来「その他」に含めていた倉庫業、運送業等を「特殊素材事業」に再編しております。

2019年3月期連結業績見通し

2019年3月期連結業績見通し

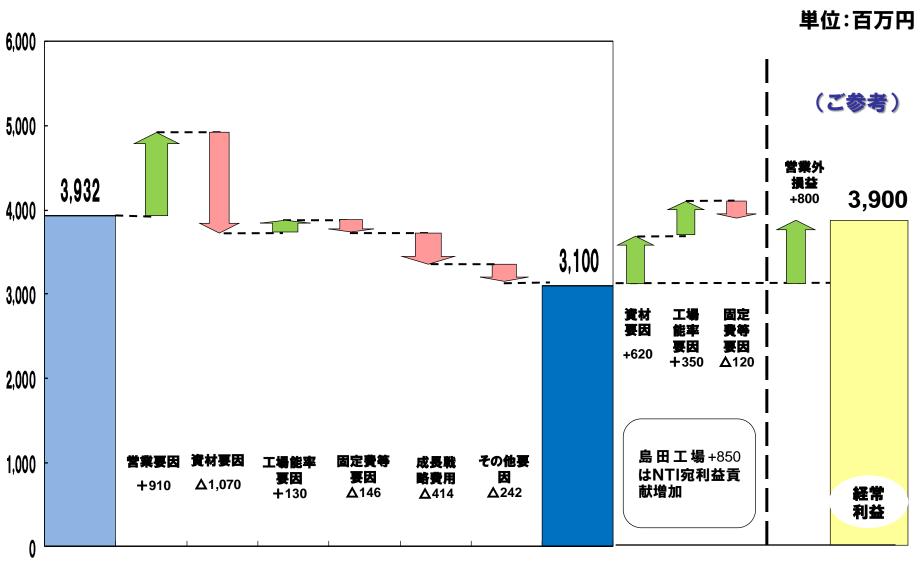
(単位:百万円)

	当期実績	今期見通し	増減
売上高	79,086	80,000	+914
営業利益	3,932	3,100	△832
経常利益	3,202	3,900	+698
親会社株主に帰属する当期純利益	2,193	2,700	+507
売上高 営業利益率	5.0%	3.9%	_

前提 **為替レート 上期**110円/US\$ 下期110円/US\$

原油価格(ドバイ) 上期60\$/B 下期50\$/B

営業利益の増減要因(2019年3月期見通し)



当期

今期(見込)

第四次中期経営計画 (2017年度~2019年度)

NEXT 10

~ 次なる成長 次なる挑戦 ~

中期経営計画 連結目標数値

NEXT10 第四次中計は「基盤事業の強化・変革」及び「成長機会の探索・始動」時期とし、 10年後を見据えた成長へのプロローグ

第四次中期経堂計画期間

			为四人下规性占可凹规间			半位・息円	
	2017/ 3期		2018 /3期	2019/3期 (見込)	2020/3期 (中計最終年度)	10年 後	
売上高	777		790	800	850	1,200	
営業利 益	47		39	31	55	100	
営業利 益率	6.1%		5.0%	3.9%	6.5%	8.3%	
ROE	*3.5%	/	3.3%	4.0%	5.0~6.0%	8.0%	

[《] ROEは一過性要因で大きく変動するため、前中計期間(2015/3~2017/3期)の平均値を2017/3期とした。

単位・倍田

「基盤事業の強化・変革」進捗状況

産業素材

新東海製紙の競争力強化

NO. 1品質 · NO. 1低コスト工場の実現

- ・ 新東海製紙のコスト削減に伴う競争力強化
 - ⇒バイオマスボイラー(12B)稼働に伴う購入電力の削減

2018/03における前年対比効果(10ヶ月)

購入電力減等変動費削減 12.9億円

12B**稼働に伴う固定費増加** △ 8.3**億円**

(結果)コスト削減効果 4.6億円/年

- 日本製紙株式会社との段ボール原紙・クラフト紙事業の提携効果推進により 提携工場 品質NO、1・低コストNO、1を目指す。
 - ⇒本提携事業における島田工場の一層の活性化 2019/03においては工場能率の改善により前年対比3.5億円のコスト削減 を見込む。
 - ⇒プロフィットセンターである販売会社NTI(日本東海インダストリアルペーパーサプライ株式会社)の「持分法による投資利益」として経常利益へ取込み

特殊素材

当社特有の技術を使ったシート状物の開発

NaSFA

・ 『TT除染シート』の開発で培った、技術

TT除染シートの展開

- ① 株式会社アトックスと『有害物質除去フィルタ、フィルタカートリッジ、及びそれを用いた吸着塔』について特許を共同出願。
- ② セシウム吸着効率を向上させたTT-除染シート ZL を株式会社アトックスと新たに共同開発。

公開特許公報番号:特開2016-179423(株式会社アトックスとの共同出願)

応用展開

TT-除染シート の技術を活かし、ゼオライト以外 の材料についても検討を開始。

消臭シート

ダイオキシン吸収シート





- ・ 『ガラス合紙』の開発で培った、技術
- ・『工業用機能紙』の開発で培った、技術

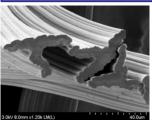
微小異物除去技術

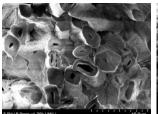
- ◎ 工程紙
 - 一次電池 (製品化) → (供給開始: 22t/年)
 - ・光電子光学 (開発中) → (製品化)
- ◎ 支持体
 - ・ クリーンルーム用フィルタ・セハ<u>゚</u>

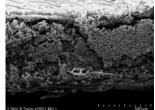
(製品化) → (供給開始:10t/年)

特別な"タネ"のシート化

- 化学繊維·粉体·薬品
 - ・インジェクション成形紙(開発中)
- ◎ 無機繊維·粉体
 - ・汚染物吸着シート(開発中)







生活商品

ペーパータオル・ラミ製品の新製品開発

NaSFA

(トライフ)

- ・ 新商品"トイレに流せる!ペーパータオル"⇒2017年9月 販売開始
- 特徴: 濡れた手をふき取れる強度を確保しながらも水解性がありトイレに流せる。



大手航空会社 大手通販会社 に納入 決定!



高平滑性がポイント

- 新商品"Nスーパーミラックスα シリーズ"⇒2018年4月 販売開始
- 食品直触OKの食品パッケージ用紙を開発

プラスチックパッケージからの切替えを狙う

- ・ 新商品"ミラックスF シリーズ"
 - **⇒2018年1月 販売開始**







ラミネート事業強化

(トライフ)

生活商品

NaSFA

粘着性 防汚性

原紙設計 ラミネート技術



トライフ 枚葉選別機



トライフ 3号ラミネーター

手術室床用シート 医療用シート向けに開発。 相手先PBで採用決定

> 食品包材 菓子包材



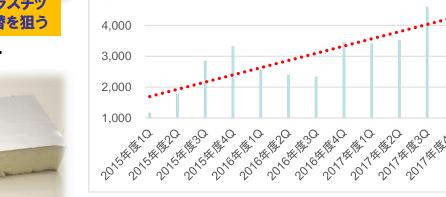
新商品投入しプラスチック容器からの代替を狙う



建装材

断熱性

/2020年省エネ新基準に向けて建材メーカー向けにウレタン素材ラミ製品を開発



5,000



島田ラミ 建材系出荷推移(数量:千㎡)

海外展開

ファンシーペーパーの新市場としての中国展開



特殊素材

NaSFA

内容

- 中国向けに新たな独自ブランドを立ち上げ、中日特種紙Gの販売網を利用し、 中国のハイエンド向け市場に切り込む。
- ・ 顧客のニーズ、中国のデザイナーを有効活用した商品開発
- ・ 想定される用途はパッケージ、書籍 等。
- 4月のオープニング展覧会を皮切りに本格的アピールを開始した。

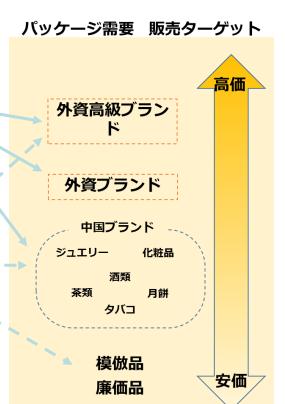
当社ターゲット・目標

初年度 目標 年間200t 2億円規模のビジネス



3年後 目標 年間1,000t 10億円規模以上の ビジネス

高級品市場 (主に輸入品) 市場規模 的5千t~1万t 中国FP市場 市場規模 約20万t~30万t



※市場規模は当社調べによる推定値

ファンシーペーパーの新市場としての中国展開 ②





KAMI LAB.

ブランド コンセプト

- ・和紙
- · L a b.
- ・楽活

- ~日本の品質と技術~
- ~常に新しさを提案~
- ~豊かな生活~

本物 信頼

期待 驚き

発見 展開

中国に特化したものづくり

ファンシーペーパーの新市場としての中国展開



販売におけるパートナー戦略



まずは、既存提携 先である中日特 種紙(台湾)のグ ループ会社である 長諠特種紙の代 理店網を利用して の販売展開

同社は有力な代理店を抱えており、既に左記の地域には直接訪問済み

ファンシーペーパーの新市場としての中国展開 ④



上市した4商品





绒马纸 (JUMASHI)



草木纸 (SOMOKUSHI)



野陶纸 (YATOSHI)





.......



ЛИППП

ファンシーペーパーの新市場としての中国展開 ⑤



ブランド認知

和紙楽活(KAMI Lab.)展示会

・ブランドローンチイベント (2018.4.13)



•上海Luxepack $(2018.4.11 \cdot 12)$



深センデザインウィーク (2018.4.20~)



特殊素材

NaSFA

保護紙の海外展開

((株)TTトレーディング)

環境

活動

中国では国を挙げて文化財保護の取組を実行中。当社は北京系、博物館系に強みを持つが、

今後は上海系、美術館系への展開も狙う

海外納入実績例

中国韓国

故宮博物院 国家博物館 国家図書館 上海市歴史博物館 南京博物院 新疆自治区博物館 国家記録院 国立中央博物館 国立民族博物館 国立ハングル博物館 韓国学中央研究院 水原博物館

国立故宮博物院 国立台湾師範大学

台湾

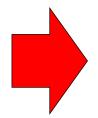
使用例



国内納入実績例

国内

国立国会図書館 東京文化財研究所 国立公文書館 国文学研究資料館 東京国立博物館 東京大学



海外で注目される日本文化と しての「まんが」保護

「まんが資料保護の研究」

東洋美術学校(専門学校)とまんが原画保護に関する共同研究を開始した。

成長戦略

新しい種(タネ)の開拓 (新機能性材料展)

NaSFA

内容

2018年2月14~16日 東京ビッグサイト 東ホール

- ・特種東海製紙、トライフ、TTトレーディングの3社が共同で出展。
- ・『偽造防止』、『微粒粉散布』、『ラミネート』、『クレープ』の新技術・新製品をアピール。
- ・ これらのアピールにより、新たな用途・需要を探索して拡販、および 新規顧客との 新製品開発につなげる。

結果

- 3日間で247名よりアンケート回収、91名と名刺交換
- ・具体的引合い・問合せ 48件 うち、22件に関して継続アプローチ
- ・特に、材料メーカーの繊維、粉体の 抄き込みや散布の引合いが多い。

目標

- ・拡販で 今期 1億円、来期 3億円売上増
- ・ 今期 新規開発テーマ 3件 立案



ESG重視による企業価値の向上

E (Environment)

- ・廃プラの有効活用(RPFの製造設備新設)
- ·CO2削減の取組(バイオマスボイラーの稼働及びガスエンジンの導入)
- ・プラスチィック容器から紙容器への転用推進(ラミ技術)
- ・汚染物質吸着技術(ダイオキシン吸収シート・重金属吸着シートなど)

S (Social)

- ・ダイバーシティ推進チームの強化
- ・女性候補者(社外取締役及び社外監査役)

G (Governance)

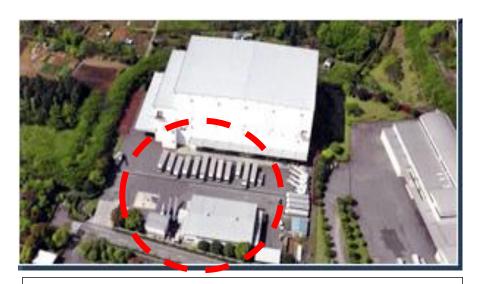
- ・資本政策の明示
- ・任意の「指名委員会」「報酬委員会」「コンプライアンス委員会」の設置
- ・常務会と社外取締役・社外監査役の定期的な意見交換会の実施
- ・社外取締役の独立性

レックス長泉工場(仮称)(RPF製造)新設

(レックス)

内容

- ・ 長泉物流センター敷地内にRPF工場 の新設を計画
- ・ 平成32年3月稼働を目指して準備中
- 三島工場10号ボイラーへの供給を強 化する
- ・ 廃プラスチックの有効利用を促進し、 環境に貢献する



※長泉物流センター内 建設予定地

投資概要

・ 設備能力: 4.0t/h (1台) 月間生産量:1,400t/月(稼働3年目計画)

投資金額:約650百万円 キャッシュメリット:約100百万円/年(稼働3年目計画)

・ 建設地:長泉物流センター敷地内

ガスエンジン設置によるコスト削減

概要

- ・ 特殊紙の主力工場である三島工場に、投資総額11億円(内、補助金3億円を 予定)のガスエンジンを導入する。
- ガスエンジン発電出力 7.800kw
- · 2018年12月 試運転開始予定



年間 約7,000tのCO2を削減

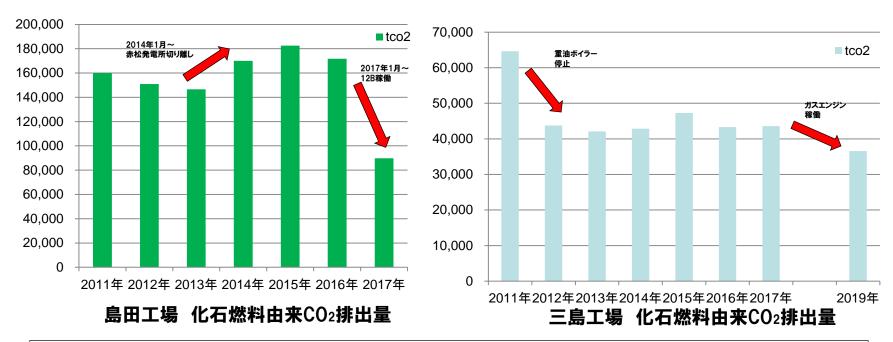
効果

・ 都市ガス購入に伴うコスト増を考慮の上、年間1.2億円のキャッシュメリットを見 込む。

環境関連分野

概要

引き続きの利益追求を図りながらも同時に環境への配慮を推進 ⇒例えばCO2の削減等



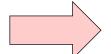
島田工場・・・赤松水力発電所の売電開始に伴い、一時的に買電増によるCO2増加あるも、バイオマスボイラー(12B)稼働によりCO2大幅削減⇒2017年度より

三島工場・・・ガスエンジン稼働に伴うCO2削減を予定⇒2019年度より

資本政策

資本政策の推進

- ・資本効率の改善
- ・株主還元の充実



- ・ 自己株式の取得及び消却
- ・ 政策保有株式の見直し

自己株式の取得・消却

- ・ 8月10日 自己株式1,032千株(44億円)を取得。
- 自己株式数1,426千株 ⇒ 2,458千株(持株比率 8,73% ⇒ 15,06%)
- ・ 11月の取締役会にて自己株式917,751株の消却を決議。
- ・ 自己株式数2.458千株 ⇒ 1.540千株
- ・ 持株比率 15.06% ⇒ 10.00%

自己株式に関する基本方針の明確化

株主に対する利益還元を経営の重要施策と位置付けて、安定配当を維持しながら、 自己株式取得による利益還元も総還元性向を総合的に勘案した上で実施し、取得 した自己株式は、希薄化懸念を払拭できるよう10%程度を上限とし超過する部分は 消却を検討。

政策保有株式の定期的な見直し

毎年、保有株式の見直しを実施。

保有メリットと資本コストから導く保有コストを比較することに加え、業界動向など総合的判断のもと、保有の有無を取締役会にて決定。

任意の委員会

客観的な決定プロセスによる仕組み

指名委員会

- ·委員長 大倉喜彦 社外監査役
- ・メンバー 中西勝則 静岡銀行 取締役会長(代表取締役)

代表取締役社長 社長執行役員 松田裕司

報酬委員会

- ·委員長 大倉喜彦 社外監査役
- ・メンバー 上田廣美 社外監査役、代表取締役社長 社長執行役員 松田裕司

コンプライアンス委員会

- ·委員長 上田廣美 社外監査役
- ・メンバー 神洋明弁護士、檜垣直人弁護士、

取締役 専務執行役員 社長補佐 社長室長 大島一宏

(ご参考)NaSFAについて

NaSFAとは

当社の商品開発に係る技術力を4つに分類したもの。 それぞれ以下の意味を表す。



- ① Na: Nano technology (ナノテクノロジーから拡がる新たな可能性)
- ⇒紙の領域を超えたシート状物の開発
- ② S: Security (偽造防止技術によるグローバル展開)
 - ⇒黒すかし技術、最新スレッド挿入技術等を用いた製品を投入
 - ⇒2020年東京オリンピックでの採用に向けた新規要素技術の開発
- ③ F: Fusion (技術融合による新市場の創造)
 - ⇒各事業部、関連会社の強みとなる差別化された技術を融合
- 4 A: Art (新規加工技術による挑戦)
 - ⇒新加工技術による新たな機能付与とコストの削減



お問い合せ先:財務・IR室

〒104-0028

東京都中央区八重洲2-4-1 ユニゾ八重洲ビル

Tel 03-3281-8581

Fax 03-3281-8591

本資料に掲載しております当社の計画および施策などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。